

# まちの話 題



あなたの周りの身近な出来事や話題をお知らせください。  
問い合わせ 市広報秘書課 ☎ 43・8113



## 祭王が親善大使に就任

宮地嶽神社秋季大祭



▲祭王として招かれた新木さくらさんと稚児行列

五穀豊穡、開運を祈願する秋の祭り、多くの観光客が集まる宮地嶽神社の秋季大祭が9月21日から23日にかけて開催されました。

宮地浜から宮地嶽神社までを練り歩く御神幸行列の祭王として招かれたのは、福岡で活躍するアイドルグループ「LinkQ」に所属する新木さくらさん。福津出身の新木さんは「いつか自分も祭王になりたい」という思いを持っていったそうで、沿道からの声掛けに終始笑顔で応えていました。福岡市から初めて御神幸行列を見に来たという82歳の足達三郎さんは「一度でいいから祭王の写真を撮ってみたい」と思いカメラを持って来た。ちょうどこつちを向いてくれたので良かった。妻に自慢します」と嬉しそうに話してくれました。

また、新木さんは9月25日に市親善大使に就任しました。今後、市のPR活動などに協力してもらうことになっていきます。

## 津屋崎で楽しむ秋のひととき

第9回音楽散歩



▲千軒通りを進む津屋崎中学校吹奏楽部のパレード

津屋崎千軒一帯で10月8日に音楽散歩が開催され、小さな子どもからご年配まで多くの人が集まりました。楽器の音や手拍子があちこちから聞こえてきて、通りを歩いているだけで楽しくなる、そんな1日でした。音楽散歩実行委員長の中利宏さんは「会場だけでなく道沿いのベンチなどは地域の人に借りている物がほとんど。皆さんの協力に支えられています。本当にありがたい」と地域の人への感謝を語っていました。

## 惜しまれながら

最後のコスモスマツリ



▲コスモスの香りを楽しむ小川颯太くん

秋晴れの絶好の天気の下、コスモスマツリが10月13日に西郷川花園で開催されました。日蔭から来ていた小川智司さんは「今年が最後で寂しい子どもたちも楽しみにしていたイベントだったので、続いて欲しかった」と残念そうに語ってくれました。コスモスマツリは終了となりますが、今後も西郷川花園ではコスモスを咲かせ続ける予定です。

## 安全安心な野菜を届けたい

県GAP認定第1号



▲GAPに取り組むことの大切さを語る友松さん

品質、安全性、環境への配慮などの基準を満たした農作物に認められる規格をGAP（グローバルグッドアグリカルティクス）といいます。農業を営む光陽台の友松修一さんが栽培するホウレンソウやゴボウなど5品目が、今年8月、県内で最初のGAPに認定されました。9月27日に認定証交付式が行われました。友松さんの思いを聞くと「GAPに取り組むことで、生産工程などを見直すことができました。地元の人にたくさん食べてもらいたい」と語ってくれました。

## 郷土の遺産を誇れるように

津屋崎小学校と久原小学校の交流会



▲古墳群で出土した土器を紹介する津屋崎小学校の児童

糟屋郡久山町の久原小学校の6年生50人が9月27日に津屋崎小学校にやってきました。新原・奴山古墳群と久山町の国指定史跡である首羅山遺跡、お互いの歴史的遺産を通して交流しようと2泊3日、徒歩の旅の最中に立ち寄ったことでした。始めに久原小学校の児童がオリジナルの劇で首羅山遺跡のことを紹介。その後、津屋崎小学校の6年生は3グループに分かれ、劇のほか、教室を歴史資料館に仕立て、古墳群のジオラマを使って紹介するなど学習の成果を発表していました。発表後、わずか5分ほどの時間でしたが「友達になろう」と言って両校の生徒が自然と集まっていた。趣味の話や最近流行っていることなどを共有すること、友達の輪が広がっていたようです。

## 居場所があれば輝ける

ふくつのふくしフェスタ



▲現在はデイサービスの所長も務める高橋さん

「ふくつのふくしフェスタ」を10月14日にイオンモール福津で開催しました。軽度認知障害の当事者、高橋英二さんの講演では「認知症を発症しても夢を持つことが大切ですよ」と自身の体験談を交えて話しました。また、障がい者施設の利用者が作った野菜や小物などの「まごころ製品」の販売も行い、多くの来場者がありました。